

# 図書館だより11月号

9月号で紹介したマンガ『はたらく細胞』が毎日新聞の記事に載っていました。



無償提供されたキャラクター画像「赤血球」(C)清水茜  
/講談社・アニプレックス・davidproduction

細胞を擬人化し人体の仕組みを紹介する漫画「はたらく細胞」(清水茜さん作)が今夏のTVアニメ化を機に人気に火が付き、教育現場でも「分かりやすい」として、福井県の中学校ではテストに利用された。読後に理科への関心を深める生徒もおり、親しみやすい理科系の学習漫画になる新領域の作品として注目されている。～中略～

従来の学習漫画と異なり娯楽性の強い作品だが、「ツイッター」では高校生とみられるアカウントに「おかげで授業めっちゃ分かった」との書き込みもあり、教育関係者らが教材用にと作品の使用許可を求めている。～中略～

日本財団が15～17年度に主催したプロジェクト「これも学習マンガだ!」は、文学や歴史など11ジャンルの娯楽作品から特に「学び」に役立つ200点を選定。古典を学ぶ学生の「バイブル」と言われる、源氏物語に基づいた大和和紀(わき)さんの「あさきゆめみし」と並んではたらく細胞も選ばれた。

明治大の藤本由香里教授(漫画文化論)は「娯楽作品として面白く、勉強にもなる内容で、漫画が学びに結びついている」と評価。作者の清水さんは「免疫の勉強が楽しくなればと思って描いた作品なので、授業に活用していただくことを大変うれしく思っています」とのコメントを寄せた。

引用:11月12日(月)毎日新聞夕刊

算学でも理科の授業で利用されているようで、新聞記事からもわかるように多くの理科の先生が大絶賛しています。実際にマンガを読んだりアニメを見た人も「面白い」と言っているの、理科が苦手な人は一見の価値ありです。『はたらく細胞』を読んで理科の成績UP!!

記事の中にある「これも学習マンガだ!」に選ばれていて図書館にあるマンガも紹介しておきます。

『はたらく細胞』と同じジャンル「科学・学習」の『もやしもん』は菌を肉眼で見ることができる主人公の農業大学生生活を描いているマンガです。おなじジャンルから『ドラゴン桜』も図書館に置いています。

「戦争」ではみんなが知っている『はだしのゲン』も選ばれていますし、何年か前に映画化された『夕凧の街 桜の国』も入っています。

「スポーツ」からは『スラムダンク』でおなじみの井上雄彦さんが描いた車いすバスケの『リアル』が、「多様性」の部門では発達障害の自閉症をテーマにした『光とともに・・・』が選ばれています。

どのマンガも「学習マンガ」と同時にエンターテインメントとしても優れていて面白く読めるのでオススメです。

## \*新しく入った本\*

